

YOKOSHIN NEWS

平成 28 年 12 月 27 日
横 浜 信 用 金 庫

《よこしん》景気動向調査結果について

—平成 28 年 10～12 月期実績、平成 29 年 1～3 月期予想—

横浜信用金庫(理事長 大前 茂)では、定例(四半期)の「景気動向調査」を実施いたしました。調査結果の概要は以下のとおりです。

【業況判断DI】

(全業種総合)業況判断は回復傾向、来期も引続き改善を見込む

- 今期(平成28年10～12月期)の全業種総合業況判断DIは、前期比3.3ポイント上昇の4.5と改善した。来期は、今期比2.8ポイント上昇の7.3と引き続き改善を見込む。
- 製造業の今期業況判断DIは、前期比5.2ポイント上昇の6.0となった。来期は、今期比9.5ポイント上昇の15.5を見込んでいる。
- 非製造業の今期業況判断DIは、前期比2.4ポイント上昇の3.8となった。卸売業が前期比12.2ポイント上昇の-1.2、建設業が同3.1ポイント上昇の24.0となった。

【特別調査】「平成 29 年の経営見通し」

- 日本の景気見通し「普通」(54.4%)、次いで「やや悪い」(26.3%)
 - 平成 29 年の自社の業況見通しは「普通」(60.1%)が最多回答
 - 平成 29 年の自社の売上額の伸び率は「変わらない」(52.4%)が最多回答
 - 業績が上向き転換点「見通しが立たない」(24.4%)、次いで「すでに上向いている」(22.1%)
- 〔特別項目：マイナス金利政策〕
- 経営上もたらす影響について「どちらともいえない」(58.3%)、「よくわからない」(24.1%)

<調査概要>

調査対象:当金庫取引先(法人・個人事業者)774 先 有効回答数:756 先
調査方法:各営業店職員による聞き取り調査 調査時期:平成 28 年 12 月上旬

※ その他詳細につきましては、「《よこしん》HP⇒法人のお客さま⇒景気動向調査」をご覧ください。



横浜信用金庫